

第三期中期計画数値目標（案）について

資料 1 - 2

I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

第1 教育に関する目標を達成するための措置

項目		目標年度	目標値	(参考)現状値
1	研究科毎の入学定員充足率[※]の 3年平均 ※入学者数を定員で除したも の	各年度	【大学院修士課程及び 博士前期課程】 100%	医学研究科修士課程 76.7% 薬学研究科博士前期課程 115.6% 経済学研究科博士前期課程 65.0% 人間文化研究科博士前期課程 85.3% 芸術工学研究科博士前期課程 68.9% 看護学研究科博士前期課程 90.3% システム自然科学研究科博士前期課程 80.0% (27~29年度入試3年平均 (各年度の10月入学者を含む))
			【大学院博士課程及び 博士後期課程】 70%を下回る研究科 の解消	医学研究科博士課程 109.0% 薬学研究科博士後期課程 63.9% 薬学研究科博士課程 127.8% 経済学研究科博士後期課程 40.0% 人間文化研究科博士後期課程 60.0% 芸術工学研究科博士後期課程 46.7% 看護学研究科博士後期課程 53.3% システム自然科学研究科博士後期課程 40.0% (27~29年度入試3年平均 (各年度の10月入学者を含む))

項目		目標年度	目標値	(参考)現状値
2	卒業生(就職希望者)の就職率	各年度	100%	99.3%(28年度)
3	全授業科目での主体的な学修の導入率	35年度	60%	32.5%(28年度)
4	専任教員のFD*参加率 ※ファカルティ・デベロップメント。教育方法等を改善するための組織的な研究・研修等の取り組み	各年度	75%	44.4%(28年度)
5	医師、薬剤師、看護師、保健師、助産師国家試験合格率	各年度	100%	医師 97.3% 薬剤師 91.1% 看護師 98.7% 保健師 100% 助産師 85.7% (28年度)
6	社会福祉士国家試験の在学中合格者数	35年度	36人 (30～35年度の累計)	30人(24～28年度の5年間の累計)
7	高等学校及び中学校教諭免許の取得件数	35年度	120件 (30～35年度の累計)	144件(24～28年度の5年間の累計)
8	幼稚園教諭免許及び保育士資格の取得件数	35年度	180件 (30～35年度の累計)	109件(24～28年度の5年間の累計)
9	臨床心理士及び公認心理師資格取得件数* ※大学院修了後1年以内の修了者による取得件数	35年度	100件 (31～35年度の累計)	— (人間文化研究科博士前期課程「臨床心理コース」の設置は29年度であり、同コース修了者で資格取得が可能となるのは31年度以降となるため)
10	公認会計士合格者数* ※学部卒業後1年以内の既卒者による合格を含む	35年度	18人 (30～35年度の累計)	19人(24～29年度の6年間の累計)

11	学士課程低年次の就職ガイダンスの実施回数	33～35年度の各年度	5回	0回(29年度(12月1日時点))
----	----------------------	-------------	----	-------------------

○第7回法人評価委員会(11/2)「資料2-2 数値目標の項目(案)について」からの項目の変更点

- ・学生の資格取得に関するものとして、10「公認会計士合格者数」を追加
- ・学生のキャリア形成に係る低年次からの支援に関するものとして、11「学士課程低年次の就職ガイダンスの実施回数」を追加

第2 研究に関する目標を達成するための措置

項目		目標年度	目標値	(参考)現状値
12	科学研究費助成事業採択件数	35年度	410件 (33～35年度の3年平均)	373件(26～28年度の3年平均)
13	国等の大型競争的資金 [※] への申請件数 ※国や国の独立行政法人等の競争的資金制度のうち、申請額が年間500万円以上のもの(科学研究費助成事業は除く)	35年度	53件 (33～35年度の3年平均)	35件(26～28年度の3年平均)
14	主要学術誌等掲載論文数 [※] ※Scopus(抄録・引用文献データベース)による数値	35年度	640件 (33～35年度の3年平均)	582件(26～28年度の3年平均)

○第7回法人評価委員会(11/2)「資料2-2 数値目標の項目(案)について」からの項目の変更点

- ・科研費以外の外部研究資金に関するものとして、13「国等の大型競争的資金への申請件数」を追加

第3 社会貢献に関する目標を達成するための措置

項目		目標年度	目標値	(参考)現状値
15	民間企業等*との共同研究・受託研究の受入額 ※国内民間企業及び公益法人等	35年度	197,000千円 (33～35年度の3年平均)	164,117千円 (26～28年度の3年平均)
16	地域連携事例集の掲載件数	35年度	50件	32件(29年12月1日時点)
17	市民公開講座の満足度* ※受講者へのアンケートにおいて、受講の感想が「よかった」「まあよかった」と答えた人数の回答数に占める割合	35年度	90% (30～35年度の6年平均)	87.6%(24～29年度の6年平均)

○第7回法人評価委員会(11/2)「資料2-2 数値目標の項目(案)について」からの項目の変更点

- ・共同研究・受託研究については、民間企業等との連携を強化することを目的とした指標を用いることとして、「共同研究・受託研究による外部資金獲得額」を15「民間企業等との共同研究・受託研究の受入額」に変更
- ・市民に身近で分かりやすいものとして、17「市民公開講座の満足度」を追加

第4 国際化に関する目標を達成するための措置

項目		目標年度	目標値	(参考)現状値
18	大学間交流協定校数	35年度	50校	37校(29年12月1日時点)
19	海外拠点校数	35年度	7校	3校(29年12月1日時点)
20	海外学習体験者数* ※留学、インターシップ ^o 及び国際学会発表等を体験した学生数	35年度	150人 (33～35年度の3年平均)	117人(26～28年度の3年平均)
21	受入留学生数	35年度	160人 (33～35年度の3年平均)	140人(26～28年度の3年平均)

22	国際共著論文数 ※ ※Scopus(抄録・引用文献データベース)による数値	35年度	130件 (33～35年度の3年平均)	111件(26～28年度の3年平均)
----	---	------	------------------------	--------------------

○第7回法人評価委員会(11/2)「資料2-2 数値目標の項目(案)について」からの項目の変更点

- ・海外の大学や研究者との交流や連携等に関するものとして、20「海外学習体験者数」、21「受入留学生数」及び22「国際共著論文数」を追加

第5 附属病院に関する目標を達成するための措置

項目		目標年度	目標値	(参考)現状値
23	地域医療機関からの紹介患者数	35年度	23,500人	20,409人(28年度)
24	新入院患者数	35年度	20,400人	18,262人(28年度)
25	医薬材料費比率(医薬材料費(税抜)/診療収入)	35年度	37%以内 (30～35年度の6年平均)	37.7%(28年度)
26	臨床研究(介入研究※)の新規実施件数 ※患者に研究を目的とした検査や治療、ケアを受けていただき、その効果や影響を評価する研究	35年度	74件 (33～35年度の3年平均)	62件(26～28年度の3年平均)

○第7回法人評価委員会(11/2)「資料2-2 数値目標の項目(案)について」からの項目の変更点

- ・病院の経営に関するものとして、25「医薬材料費比率」を追加

Ⅲ 財務内容の改善に関する目標を達成するために取るべき措置

項目		目標年度	目標値	(参考)現状値
27	流動比率(流動資産/流動負債)	各年度	100%以上	142.8%(28年度)
28	当期総損益	各年度	プラス(黒字)	148百万円(28年度)
29	大学自主財源額* ※運営費交付金以外の財源(自己収入、寄附金及び受託研究収入等)	各年度	対前年度比プラス	[大学自主財源額] 4,886百万円(28年度)
30	一般管理費比率(一般管理費/業務費)	各年度	(第三期の収支計画から算出するため未設定。一般管理費の低位安定化を目指す数値とする予定)	1.8%(28年度)

V その他の業務運営に関する重要目標を達成するために取るべき措置

項目		目標年度	目標値	(参考)現状値
31	女性上位職教員(教授・准教授)数	35年度	60人	55人(29年10月1日時点)